



文化交流でパンの作り方を学ぶ生徒たち。このほかにも、全部で8つの講座が開設されました

7月31日から8月2日の3日間にわたり、釜山広域市国星学園大東中学校と名和中学校の日韓親善交流がおこなわれました。

本年度は、13家庭のホストファミリーの協力があり、ホームステイを中心に交流がなされました。中学校では、歓迎レセプション・歓迎式典・文化交流・スポーツ交流をおこないました。歓迎式典は、轟太鼓の歓迎演奏で幕を開け、

午後からのスポーツ交流でもバスケットボールの白熱した試合がおこなわれました。ホームステイをしている生徒を、名和の生徒や保護者が応援する姿も見られ、とてもよい雰囲気でした。3日間という短い期間での交流でしたが、最終日の見送りで、一緒に記念撮影をする姿や別



関係者を迎えての歓迎レセプション。教師や保護者の間にも、交流の輪が広がりました

地球全体の環境が変化しています。台風の異常発生、アメリカのハリケーン、中国の洪水など猛威をふるう大自然の報道に驚くばかりです。

波の心配が全く無いとは限りません。いろいろな角度からの反省を踏まえ、今年度は、地震と津波を想定した保育所との合同避難訓練をおこないました。

防災の月・9月。光徳小学校でも地震を想定した訓練を実施しました。昨年までは緊急放送のあと机の下にもぐり込み、指示に従って校庭を通り抜け、光徳保育所の前庭に避難するというスタイルをとっていました。

9月9日、午前10時の緊急放送により、例によって机の下に一時避難。次の津波警報によって緊急避難します。この時、隣接の光徳保育所とどう連携して安全を確保するのかということ

光徳小学校

お兄さん、お姉さんと一緒なら大丈夫！
～ 保育所と合同避難訓練～



「大丈夫？」小さな子どもたちを気づかいながら、できるだけ急いで避難します

しかし、大地震は、いつどのようにして起きるか分かりません。また、地震が起きても日本海は津

波の浪なども見られ、来年の再会を固く誓い合っていました。この交流で、町当局のご理解とご支援をいただき、円滑に国際交流事業を推進することができました。そして、ホストファミリーを引き受けた方々、文化交流で講師を快く引き受けてくださった方々など、多くの方に協力をお願いし、この交流の成果を、来年度の善交流を終えることができました。



小さな子どもたちをかばいながら避難する児童たちの姿は、とても頼もしく力強く見えました

昭和58年5月26日に発生した日本海中部地震では、地震から7分後に深浦で津波第一波を観測しています。最大の波の高さは11メートルだったと記録されています。国道近くまで波が押し寄せ、